

寺報

令和4年(2022)孟蘭盆会第148号(1)

発行 福島市田沢字寺前18

長秀院・仲興寺

TEL 024(548)1240

FAX 024(573)1202

ホームページ <http://www.choshuin.jp/>

e-mail info@choshuin.jp/

編集責任 渡辺 祥文



お盆は正式には、孟蘭盆会といえます。略して「お盆」となりました。中国で作られたお経である「仏説・孟蘭盆経」が由来とされますが、中国の祖霊信

仰に日本の農耕儀礼が交じり仏教に取り入れられ、中国と日本で広まりました。現在までに約千五百年の歴史を有すると言われています。

お盆には、亡き人々も、生きている人々もみな里帰りします。みなが盆棚・仏壇を中心に集まる懐しく楽しい一時です。

二年目のコロナ禍中ですが、お盆の大切な一時をみなで語り、先祖とわたしたち、そして生きているものの「絆」をかみしめて過ごしたいものです。

孟蘭盆会



― 暑中お見舞申し上げます ―

新型コロナウイルス感染症の収束・終息を

心より祈念致します

こんな時ですが笑顔を忘れずにすごしましょう

案内板

本年も、不特定多数参加の行事は中止となります。

盆踊り大会(長秀院護持会主催)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたします。

仏教会主催とうろう流し

八月十七日(福島市仏教会主催)

本年は無参加者(無観客)の法要を行います。

また、皆様のとうろうも申し受けます。

令和四年 孟蘭盆会

山主拝

七月二十八日現在、新型コロナウイルス感染症「第七波」の感染が最大の拡大となっています。今後も状況により行事等についてお知らせ致します。

雲水日記 その六

渡辺 秀憲

二度目の梅雨かと思わせる長い雨も明け、ついに夏らしい日差しと湿気に悩まされるようになりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

前々回から引き続き、旦過寮^{たんがりよう}という修行僧としての見習い期間を過ごす部署での生活をお伝えしようと思います。

旦過寮では修行僧の生活における基本的な作法を教えられるとお伝えしました。前回お伝えした坐禅に限らず、起床後の洗面、お手洗い、入浴など、日常の所作それぞれに決められた作法があり、そのすべてを旦過寮にいる間に教えられるのです。坐禅だけではなく、日常生活一つ一つを真摯に、全力で取り組むことが修行なのだという、永平寺を開かれた

道元禅師の教えが実践されているのです。

特に独特なのは、お食事の作法でしょう。曹洞宗では、修行における正式なお食事の頂き方として、坐禅や就寝をする僧堂^{そうどう}という場所で、坐禅をしながらお食事をいただきます。修行僧にとって食事とは、美味を求めてむさぼるものではなく、修行生活を送る上で必要不可欠な、いわば薬のようなものととらえます。「坐禅をしながらお食事をいただく」と書きましたが、より正確には「食事をしながら坐禅をする」食事も立派な修行の一つなのです。

だからこそ、食事の作法は一挙手一投足にいたるまで細かく決められています。応量器という食器を使い、坐禅をする自

分の前に決められた順番通りに並べます。食器や箸を持つときは必ず両手。食物を見下すことのないように、食べるときは器ごとあごの下まで持ち上げる。その所作には、修行生活を支えてくれる食事への敬意があふれています。

しかし新米修行僧にとっては、作法から道元禅師のお考えをくみ取る余裕などありません。指導役の先輩修行僧が目の前に立ち、作法の間違いを指摘してくる緊張感。焦りから手が震え、そのせいで箸や食器を落としそうになります。一緒に食べていた他の修行僧は先に食べ終わり、いつしか僧堂には自分たちと指導役の修行僧しかいません。作法の複雑さと先輩たちの作法の速さに、「自分分は修行生活についていけないのだろうか」と多くの新米たちが思い悩むのです。次回に続きます。



新型コロナウイルス感染症 第七波と感染防止について



七月二十八日の報道等によると新型コロナウイルス感染症オミクロン株・B・A・5型の感染者数において日本が世界一になったということです。

こどもたちに広く感染し比較的軽症といわれていますが、全世代に感染が進むと厳しい状況となってくるだろうと想像しています。ピークが八月末との予想が多く、第四回目のワクチン接種等、どこまでも真面目に取り組まなければならないのだと思います。

さらに変異株のB・A・2・75型が確認され増えるかもしれないと報道されました。

今後も寺院としての対応をゆるめることなく続けてまいります。三年目の夏、それでも収束・終息は未だ遠いかもしれません。

まだまだ予断を許さないということでしょう。頑張つてまいります。

(住職 拝記)

八月十七日 福島市仏教会主催

「とうろう流し」隈畔で開催

※ただし、無参拝（無観客）法要

とうろうの申込みは例年通り、各寺院へ申込みをお願いします。
(当日受付はありません。また各自持込みもありません。)

令和四年 流灯会

真心を一灯に託して

福島とうろう流し

とき

令和四年 八月十七日(水) 「開始・十八時半」

(雨天の場合 八月二十日(土))

ところ

阿武隈川県庁裏 隈畔

コロナ感染 防止のため

河川敷入場禁止

とうろう現地 受付の中止

コロナ感染拡大防止のため、実行委員以外の一般の方の入場を禁止いたします。

入場禁止に伴い、灯籠を希望される方は菩提寺が最寄りのお寺にお申し込みください。

今年の夏の坐禅会



◆ 7月29日 開催
蓬萊学習センター こども広場



今年もコロナ禍ではありましたが、二十名の参加者が坐禅・写経の「心の勉強」につとめました。



福島県宗務所関係行事について



本山研修会（大本山總持寺）

（九月上旬）……………

条件付開催予定



梅花流福島県奉詠大会

（十月下旬）……………

条件付開催予定



八月七日（日）午後四時（※本年も人数制限をいたします）

長秀院孟蘭盆供養会（総供養・新盆供養を行います）

八月十三日（土）午後四時（※本年も人数制限をいたします）

仲興寺孟蘭盆供養会（総供養・新盆供養を行います）

八月十三日（土）～十六日（火）

孟蘭盆会

八月十五日（月）

長秀院盆踊り大会（八月十五日の夕べ）……………中止

八月十七日（水）（仏教会僧侶関係者のみにて開催（無参拝法要））

流灯会とうろう流し（福島市仏教会主催）

おねがい

お盆前後は行事も多く、住職が不在がちになります。種々の相談等でお急ぎの場合は電話またはFAXにてご確認下さい。

電話 〇二四一五四八―二四〇
FAX 〇二四一五七三―二〇二

う ら ぼん え 盂蘭盆会総供養のしおり



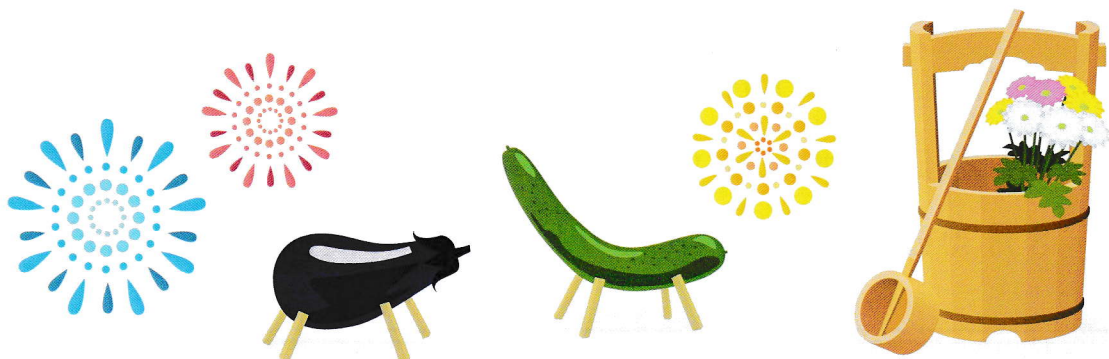
1 お盆の行事

お盆の正式な名称は「盂蘭盆会」^{う ら ぼん え}と言います。サンスクリット語（古代インド語）の「ウランバーナ」という言葉に由来すると言われています。やがて「ウランバーナ」が中国において音をまねて「盂蘭盆」^{う ら ぼん}という言葉に漢訳され、日本に伝わり、略されて通称「お盆」と言われるようになりました。日本においては特にご先祖方や各精霊が家庭に里帰りされゆっくりと過し、家族親族で供養の誠を尽くし、またお見送りをする時と考えています。

2 ^{あら ぼん}新盆のご供養

「新盆」は、当地福島では「あらぼん」と呼びます。そのほか全国的には「にいぼん」「しんぼん」とも言い、また「初^{はつ}盆^{ぼん}」とも言います。

亡き精霊がご先祖になり、初めて迎えるお盆であり、特別にねんごろにご供養いたします。ほとけ様の世界から、初めての里帰りと考えての供養です。



3 お盆のご供養の流れと呼び方

*「七月盆」…7月13日から7月16日までの、正式なお盆期間です。東京をはじめ関東を中心に、全国に七月盆の地域があります。別名「新盆（しんぼん）」、全国の2～3割が七月盆です。

*「八月盆」…別名では「旧盆、月遅れのお盆」とも言われます。

農業関係の収穫に由来するとともに、また旧暦にあわせてとも、さらに夏休み休暇による帰省に好都合だったから等、諸説ありますが、広く全国で行われています。

大切なときですので、亡き方々に夏の季節のもの、好物をお供えし、心からなる供養をおつとめいたしましょう。

八月盆の流れ

- ・ 8月7日 … 七日盆（なのかぼん）お盆の飾りつけをする
- ・ 8月13日 … 迎盆（むかえぼん）夕方迎え火を軒先で焚き、
ご先祖をお迎えする
- ・ 盆中 …… 盆踊り等の行事 盆踊りは先祖を囲んでの行事
- ・ 8月16日 … 送盆（おくりぼん）ご先祖がほとけの世界にお帰りのになるので、お見送りをする
- ・ 8月20日 … 二十日盆（はつかぼん）実家に帰ってのお盆行事
- ・ 8月24日 … 地蔵盆（じぞうぼん）お地蔵様を中心にお盆供養
- ・ 8月30日 … 晦日盆（みそかぼん）収穫等の関係で、遅いお盆

